

No.	合金名(通称)	UNS No.	特徴	出典
1	ニッケル 200	N02200	苛性ソーダを始めとしたアルカリ溶液に優れた耐食性を示し、高純度のハロゲンガスや非酸化性酸にもよく耐え、苛性ソーダの濃縮容器を始め、広範囲な分野で使用されます。酸化、還元両雰囲気耐食性がありますが、特に還元性雰囲気での耐食性に優れています。	日立金属
2	ニッケル 201	N02201	特に炭素を低くし、高温(315℃以上)における安定性があり、315℃以上で使用される機器に使用されます。	日立金属
3	ニッケル 205	N02205	自動車部品などに用いられる純ニッケルです	VDM
4	ニッケル 270	N02270	低硬度で高延性の粉末状高純度ニッケルです。水素電極管や電気抵抗温度計に使用されます。	Special Metals
5	モネル 400(モネル)	N04400	広範囲の温度域で高い強度と靱性があり、特に海洋・化学業界における還元性雰囲気でも多用され、酸化雰囲気でも高い耐食性を持ちます。海水や工業用水における孔食・隙間腐食・応力腐食割れで抵抗性があります。	Special Metals
6	モネル 405	N04405	硫黄を加えることで、モネルの耐食性と機械的性質はそのままに快削性を増した材種です。	Special Metals
7	K モネル	N05500	モネルにアルミとチタンを加え時効硬化を行うことで、その優れた耐食性に強度と硬さを増した材種です。海洋で用いられる鎖、ケーブル、留め金具、バネ、化学工業でのポンプやバルブの部品、パルプ製造機械部品、油田掘削用部品、センサーほか電子部品などに用いられます。	Special Metals
8	MC アロイ	N06044	耐硝フッ酸用材料として開発された合金であり、優れた耐塩酸性・耐硫酸性も特長です。フッ酸・硫酸・リン酸・酸化性酸を含んだ混酸等にも優れた耐食性を示します。	日立金属
9	インコネル 600	N06600	あらゆる腐食性物質に対して優れた耐食性を示す合金で、ステンレス鋼に見られる塩化腐食割れを生じない合金です。合金成分のうち、ニッケルは、広範囲の酸、アルカリ、無機、有機物に対する耐食性を高め、クロムは腐食環境中の硫化物に対する耐食性や酸化性の酸に対する耐食性を高めます。	日立金属
10	ハステロイ G	N06007	高温の硫酸やリン酸に優れた耐食性を示します。	日立金属
11	ハステロイ G-3	N06985	高温の硫酸やリン酸に優れた耐食性を示します。ハステロイ G の低炭素材です。	日立金属
12	ハステロイ G-30	N06030	湿式のリン酸プラントで 30 年持つと言われる合金です。重要な肥料用原料である P2O5 に加え、局部腐食の原因となる塩素分の増加に対しても抵抗性があります。さらに塩素分による応力腐食割れに対してもステンレス鋼より良好です。高いクロム含有量によりほかの酸化性酸、たとえば硝酸もしくはそれが混入した環境にも、またモリブデンと銅を含むことにより還元性酸、例えば塩酸、硫酸にも耐食性があります。	Haynes International
13	ハステロイ B	N10001	塩酸など、還元性の環境で抜群の耐食性を示します。	日立金属
14	ハステロイ B-2	N10665	優れた耐塩酸性・耐硫酸性があり、すべての濃度のおよび沸点までのあらゆる温度の塩酸を扱う設備に特に適しています。また、塩化水素ガス、硫酸、酢酸、りん酸にも耐食性を持っています。ただし、ある程度の量の第二鉄塩や第二銅塩が存在する環境では、腐食が起こる場合があります。例えば塩酸が鉄や銅に接触すると第二鉄塩や第二銅塩が生成する可能性がありますので塩酸を含むプロセスの中で、鉄管や銅管と連結して使用される場合早期に腐食損傷される恐れがあります。ハステロイ B を低炭素化することで、ハステロイ B と同様に優れた耐食性をもつことに加え、特にナイフラインアタックと熱影響部に対する耐食性が改良されています。溶接熱影響部の結晶粒界に炭化物が析出するのを防ぐ為、多くの化学プロセスに、溶接したままの状態で使用出来ます。	日立金属
15	ハステロイ B-3	N10675	塩酸など還元性の雰囲気において、広い温度帯と濃度範囲で高い耐食性を示するのが特徴です。ハステロイ B-2 よりも、金属間化合物の析出しやすい 500~800 °C における熱的安定性が改善されています。	VDM
16	ハステロイ HYBRID-BC1	N10362	塩酸や硫酸に対して、ハステロイ C シリーズよりも抵抗性があることに加え、酸化因子の含有も許容します。また、孔食や隙間腐食も防ぎます。	Haynes International
17	ハステロイ C-276	N10276	1960 年代の溶解技術向上による低炭素化が実現したことにより、溶接のままで使用できるように改良された Ni-Cr-Mo 系合金です。この合金は溶接熱影響部での粒界析出を抑制することにより、溶接後の熱処理を必要とせずに多くの化学プロセスに使用出来るように改良されています。なお、MA22、MAT21 は、この合金の後に開発されました。	日立金属
18	ハステロイ C-4	N06455	ハステロイ C-276 の高温安定性を改良した合金です。	日立金属

No.	合金名(通称)	UNS No.	特徴	出典
19	ハステロイ C-22	N06022	酸化性酸および還元性酸の両方の媒体に優れた耐食性を示し、その多才性により酸化・還元の間条件が繰り返起こるプロセスや多目的機器に使用出来ます。特に、酸化性の水溶液(酸化性物質を含有する酸、湿塩素ガス、硝酸が混合した媒体、塩化物イオンを含有する酸化性酸など)に優れた耐食性を示します。	日立金属
20	ハステロイ C-22HS	N07022	石油・ガス産業における耐食用途に特化した合金です。サワーガス環境で格別な抵抗性を持ちます。	Haynes International
21	ハステロイ C-2000	N06200	意図的に銅を加えた、多目的に用いられる NiCrMo 合金の中でも特異な合金で、硫酸環境で格段に優れた耐食性を示します。また、クロムを多く含むことにより、酸化性物質や鉄イオンや溶存酸素の流入に対しての耐食性を最大化しています。他のニッケル合金同様の延性を持つため成形や溶接が容易で、ステンレス鋼の劣化形態としてよくある塩素雰囲気における応力腐食割れにも抵抗力があります。また、広範囲の酸化又は非酸化環境にもち、塩素などのハロゲン化物の存在によって発生する孔食や隙間腐食にも優れた抵抗力があります。化学産業における典型的な用途としては反応器や熱交換器があります。	Haynes International
22	インコネル 686	N06686	過酷な環境下で優れた耐食性を示す合金です。含有するニッケルとモリブデンで還元性雰囲気に対する、クロムで酸化性雰囲気に対する耐食性をもたせています。また、モリブデンとタングステンにより孔食など局部腐食を防ぎます。さらに鉄の含有で特性を伸張させ、低炭素として溶接熱影響部の耐食性を維持しています。	Special Metals
23	MAT21	N06210	種々の環境で高い耐食性を発揮する合金で、多目的・多反応プラント、腐食許容量の小さい医薬品製造プラントや半導体製造装置に適用可能なほか、排煙脱硫装置等で生じる硫酸露点腐食に対しても優れた耐食性を有しています。	日立金属
24	インコネル 625	N06625	特に耐食性、耐酸化性に優れた合金で、低温から 1100℃の温度範囲で高い強度、ラプチャーおよび疲労特性を示します。また非磁性で、Ni-Cr 系合金に Mo と Nb を添加し、強度を高めると共に、耐食性を良くし、特に塩化物イオンによる耐応力腐食割れ感受性に優れた特性を発揮します。主にジェットエンジン部品、航空機用材、化学工業部品、特殊海水装置、熱処理炉材、蒸発器などに使用されます。	日立金属
25	アロイ 59	N06059	低炭素低シリコンの耐食・高強度合金です。酸化性、還元性いずれの環境でも良好な耐食性を示します。特に、塩素を含む孔食および隙間腐食、応力腐食割れ環境に抵抗力があります。また、硝酸、リン酸、硫酸、その他の無機酸に優れた耐食性を持ちます。	VDM
26	サニクロ 28	N08028	腐食性の高い環境のための多目的オーステナイト系ステンレス鋼です。強酸に対し非常に高い耐食性を示し、さまざまな環境での応力腐食割れ、粒界腐食、孔食、隙間腐食に対し高い耐性を持ちます。また、溶接性も良好です。	Sandvik
27	アロイ 31	N08031	窒素を添加した FeNiCrMo 合金で、高合金ステンレス鋼とニッケル合金の中間に当たる合金です。特に化学、石油化学、製錬、環境、海洋、石油ガス産業で用いられています。	VDM
28	ハステロイ G-35	N06035	肥料製造における湿式のリン酸プラント用合金です。この環境下では他の材料と比較しはるかに上位であることが実機試験で証明されています。リン酸の湿式プロセスにおける課題である、蒸発機内の塩素による部分腐食に対し抵抗性があります。さらに、湿式プロセスによく用いられるステンレス鋼や NiCrFe 合金と比べ、塩素含有による応力腐食割れにも抵抗性があります。また、クロムを非常に多く含むため、硝酸など酸化性雰囲気にももちます。加えて、モリブデンを含むため還元性酸にももち、他の NiCrMo 合金とは異なり高温の苛性ソーダにも耐食性を持ちます。	Haynes International
29	カーペンター 20Cb-3	N08020	硫酸及び酸化性の酸に対し、優れた耐食性を示します。	日立金属
30	インコネル 800	N08800	高温強度があり酸化、浸炭にも強く、石油化学の高温反応装置等に使用されます。	日立金属
31	インコネル 825	N08825	耐食性にすぐれ、油田ガス処理装置などに使用されます。	日立金属
32	インコロイ 890	N08890	1200℃までの高温下で、高強度ならびに酸化、炭化、硫化への優れた抵抗性を持つインコロイ合金です。	Special Metals
33	インコロイ 925	N09925	高強度と耐食性を両立させた時効強化型の NiFeCr 合金です。ニッケルは、塩素イオンによる応力腐食割れの防止に役立ちますが、これにモリブデンと銅が加わることにより還元性化学物質に対する優れた耐食性もあり、モリブデンは孔食や隙間腐食への耐食性を助けます。また、クロムは酸化性環境に対し耐食性を示します。さらに、チタンとアルミが含まれていることにより、熱処理による強化を図ることができます。例として、高強度と耐食性の双方が求められるサワーガス環境下での配管、バルブ、その他部品に用いられています。	Special Metals

No.	合金名(通称)	UNS No.	特徴	出典
34	インコロイ 945	N09945	石油・天然ガス業界向の時効強化型 NiFeCr 合金です。ニッケル、モリブデン、銅、クロムの効果はインコロイ 925 と同様で、ニオブはチタンとアルミと共に時効強化に役立ちます。	Special Metals
35	SUS904L	N08904	SUS 316L よりも耐食性に優れるオーステナイト系ステンレス鋼で、Cu 添加(1.5%)のため、硫酸やリン酸のような非酸化性の酸に対しても優れた耐食性を示し化学プラント用など幅広い用途に使用されています。	日鉄ステンレス
36	SUS312L	S31254	高クロム高モリブデンを含有する高耐食ステンレス鋼で、高温海水のような苛酷な環境でも優れた耐食性を有し、環境によってはニッケル合金や純チタンに匹敵する耐食性を有する経済性の高いステンレス鋼です	日鉄ステンレス
37	SUS 836L	S32053	高ニッケル高クロム高モリブデンを含有する高耐食オーステナイト系ステンレス鋼で、海水のような苛酷な環境でも優れた耐食性を有し、環境によってはニッケル合金や純チタンに匹敵する耐食性を有する経済性の高いステンレス鋼です。	日鉄ステンレス
38	NAS 254NM	N08367	高クロム高モリブデンを含有する高耐食ステンレス鋼で、海水あるいは排煙脱硫装置のような苛酷な環境下においても優れた耐食性を有し、環境によってはニッケル合金や純チタンに匹敵する耐食性を有する経済性の高いステンレス鋼です	日鉄ステンレス
39	NAS 255NM	N08926	高クロム高モリブデンを含有する高耐食ステンレス鋼で、高温海水あるいは排煙脱硫装置のような苛酷な環境下において優れた耐食性を有し、環境によってはニッケル合金や純チタンに匹敵する耐食性を有する経済性の高いステンレス鋼です。	日鉄ステンレス
40	NAS 354N	N08354	従来のステンレス鋼よりも、一段と耐食性に優れ、ニッケル基耐食合金に近い耐孔食性、耐すきま腐食性を有する高耐食オーステナイト系ステンレス鋼です。	日鉄ステンレス
41	NSSC 170 (YUS 170)	—	ステンレス鋼の弱点の一つである耐孔食性、耐すきま腐食性を著しく高めた鋼種です。	日鉄ステンレス
42	NSSC 180 (YUS 180)	—	Mo を添加せずに耐錆性を向上させた鋼種です。SUS304 に近い耐錆性を示します。低炭素であるため、SUS430 より延性、加工性に優れています。高温特性(耐酸化性、高温強度)も優れています。	日鉄ステンレス
43	NSSC 190 (YUS 190)	S11972	オーステナイトステンレス鋼の欠陥である応力腐食割れに対して、優れた性能を発揮し、かつ耐粒界腐食性、耐孔食性、耐すきま腐食性も大幅に向上させたフェライト系ステンレス鋼です。耐応力腐食割れ性、耐粒界腐食性が優れています。耐孔食性、耐すきま腐食性は SUS304 以上です。加工性に優れ、溶接性が良好です。”	日鉄ステンレス
43 45	SUS 329J3L	S31803 S32205	オーステナイト・フェライト二相ステンレス鋼であり、優れた耐食性および強度特性を有します。SUS 316L、SUS 317L に比べて、耐局部腐食性に優れており、化学プラント、海水淡水化プラント等に用いられます。	日鉄ステンレス
46	SAF(ザフ) 2304	S32304	一般的な腐食や孔食への耐食性に加え応力腐食割れへの非常に優れた耐性を持ち、高強度(オーステナイト系ステンレス鋼の約 2 倍)による設計上の利点のあることに加え、製造が容易で靱性に優れ溶接性も良好な二相ステンレス鋼です。	Sandvik
47	SUS329J4L	S32750	オーステナイト・フェライト二相ステンレス鋼で、SUS 316L に比べ高 Cr、高 Mo 組成であるため、耐局部腐食性が特に向上しており、リン酸、酢酸、各種硫黄化合物などに対して優れた耐食性を有する材料です。	日鉄ステンレス
48	NAS 75N	S32760	孔食指数(PRE)が 40 以上のスーパー二相ステンレス鋼であり、優れた耐食性および強度特性を有します。UNS S32205、SUS 329J3L、SUS 329J4L に比べて、耐局部腐食性に優れており、化学プラント、海水淡水化プラント等に用いられます。	日鉄ステンレス
49	サンドビック 10RE51	S32900	応力腐食割れ(SCC)に対する耐性、孔食、隙間、一般的な腐食に対する高い耐性、および非常に高い機械的強度を特徴とする二相ステンレス鋼です。	Sandvik
50	NSSC 2120	S82122	SUS304 の代替として、コストパフォーマンスに優れた鋼種です。強度(耐力)は、SUS304 の約 2 倍で薄肉・軽量設計が可能となり、鋼材の使用量を削減できます。耐食性は、SU304 同等以上で良好な耐孔食性を有し、応力腐食割れに対する抵抗は SUS304 より遥かに優れています。Ni 含有量(2%)は、SUS304(8%)より削減され Ni 原料価格の変動の影響を受けにくく、価格の安定したエコな材料です。また溶接性が改善された二相鋼です。大入熱溶接(サブマージアーク溶接)が可能で、溶接部の特性にも優れたリーニ二相鋼です。	日鉄ステンレス
51	アルチメット	R31233	耐摩耗と耐食の両機能を併せ持った合金です。耐摩合金としては低炭素のステライト®であると言え、耐食合金としては ハステロイ C や G シリーズと同様に塩素を含む環境において孔食や隙間腐食に耐えます。機械的性質や溶接性は、延性に乏しいステライトよりもハステロイシリーズに近く、良好です。	Haynes International

No.	合金名(通称)	UNS No.	特徴	出典
52	ヘインズアロイ 75	N06075	650°Cまでの温度域で適度な強度を持つ合金です。インコネル 600 と同様に、温度上昇する環境下で十分な耐酸化性を有します。欧州のガスタービンや航空機産業を始め、一般工業における耐熱部品に使用されています。	Haynes International
53	ヘインズアロイ 214	N07214	耐高温酸化性に優れ、電子材料の焼成治具や連続焼鈍炉のメッシュベルトに使用されます。	日立金属
54	MC 701	N06044	耐食合金であると同時に、耐熱材料としても優れた特性を示し、耐酸化性・耐高温腐食性(耐サルファーアタック・耐バナジウムアタック)に優れています。	日立金属
55	DSALOY617	N06617	1,000°C以上の高温でも強度と冶金的組織安定性と耐酸化性に優れた固溶強化型の耐熱合金で、湿潤環境での耐食性にも優れています。	大同特殊鋼
56	ワスパロイ	N07001	高温強度が高くジェットエンジンやガスタービン部品として使用されます。	日立金属
57	ヘインズアロイ 282	N07208	航空機やガスタービンのような高温用途の構造材用合金です。クリープ強度や熱安定性、溶接性、加工性に優れています。溶接性を損なわぬまま 649~927°Cにおける優れたクリープ強度を有しています。	Haynes International
58	インコネル 600	N06600	耐食合金であることに加え、高温で生じる酸化皮膜は安定しており、加熱-冷却の繰り返しに対して高温まで耐え、窒化に対しても抵抗性が大であり工業炉材等にも使われています。	日立金属
59	インコネル 601	N06601	1,205°Cまでの高温酸化雰囲気能耐え、耐浸炭性に優れます。耐酸化性は主としてクロムによって与えられますが、この合金は更に比較的高いアルミを含んでおり、このアルミがより耐酸化性を向上させています。成形加工や溶接も容易に行えます。	日立金属
60	ハステロイ X	N06002	1,200°Cに達する高温中でも優れた強度と耐酸化性を持ち、すぐれた加工性と溶接性もある合金です。また、酸化・還元および中性の雰囲気に対し優れた抵抗力を持っていますので、特に加熱炉の部品として推奨出来ます。ジェットエンジンのテールパイプ、アフターバーナー、ノズルベイン、キャビンヒーター、その他の航空機部品にも適した材料です。	日立金属
61	インコネル 690	N06690	様々な腐食環境と高温環境に抵抗性をもつ合金です。組織の安定性と共に加工性も良好ですクロムを添加することで酸化因子や高温での酸化性ガスに耐えます。またニッケルを多く含むため塩素を含有する環境や苛性ソーダ溶液で生ずる応力腐食割れも防ぎます。硝酸、硝フッ酸などにも有効です。	Special Metals
62	インコネル 693	N06693	従来のニッケル合金では実現できなかった高温での耐食性を持つ合金です。特に注目されるのは化学・石油化学業界におけるメタルダストへの抵抗性です。高いクロム含有率で耐酸化性と耐硫化性を持ちます。また、アルミを含むことにより、その他の高温耐食性も有します。	Special Metals
63	インコネル 718	N07718	Ni 基の析出強化型合金で、700°C迄の良好な高温強度とクリープ強度を示します。また、加工性、溶接性にもすぐれ、低温での靱性にも優れているので、ガスタービン、航空機部品、ロケット用部品バネ、低温用部品等、幅広い用途に使われています。	日立金属
64	インコネル X-750	N07750	時効強化性の Ni-Cr 基合金で、適切な熱処理を施せば、816°Cの高温、高応力下でも高いストレスラプチャー強度と、小さいクリープ強度が得られます。しかも化学的腐食および酸化に対しても大きな抵抗性を示します。	日立金属
65	インコネル 751	N07751	インコネル X-750 と同様の析出強化型 NiCr 耐熱合金で、内燃機関の排気バルブ用として開発された合金です。	大同特殊鋼
66	インコネル 725	N07725	耐食性と時効硬化により高温強度をも合わせ持つ合金です。インコネル 625 同等の耐食性を持ちますが、時効処理すると焼きなまししたインコネル 625 の 2 倍の強度を持ちます。加工硬化による強度アップではないので延性や靱性も高く維持できます。高ニッケル高クロムで還元性・酸化性雰囲気に耐食性があり、モリブデンを添加することで、耐還元性・耐孔食性・耐隙間腐食性を持ちます。さらに水素脆性と応力腐食割れにも抵抗性があります。	Special Metals
67	HR-224	—	優れた耐酸化性とヘインズアロイ 214 よりも改善された加工性、溶接性を持つ合金です。熱回収機、自動車用キャタライザ、熱遮蔽板ほかの過酷な酸化環境で用いられます。	Haynes International
68	インコネル 706	N09706	高温強度が高くジェットエンジンやロケット用部品として使用されます。	日立金属
69	ハステロイ W	N10004	異材溶接用溶接材として開発された合金です。異材継手における優れた溶接性を持ち、ガスタービンや航空機産業で用いられています。継手を構成する素材にもよりますが、幅広い組み合わせに対応しています。リング形状でガスタービン部品に用いられることもあります。	Haynes International

No.	合金名(通称)	UNS No.	特徴	出典
90	インコロイ 925	N09925	高強度と耐食性を合わせ持つよう設計された時効強化型 NiFeCr 合金です。ニッケルにより、塩素イオンによる応力腐食割れへの抵抗性があり、モリブデンと銅を含むため還元性環境に、またモリブデンは孔食や隙間腐食にも、さらにクロムは酸化性環境に効果があります。チタンとアルミは熱処理の行う際に強度を増すために加えられています。高強度と耐食性の双方が求められ応力腐食割れを起こしやすい油田のサワーガス環境における部品などに用いられます。また、締め金具や配管などにも用いられます。	Special Metals
91	インコロイ 945	N09945	石油ガス業界向けに高強度と耐食性を合わせ持つよう設計された時効強化型 NiFeCr 合金です。ニッケルにより、塩素イオンによる応力腐食割れへの抵抗性があり、モリブデンと銅を含むため還元性環境に、またモリブデンは孔食や隙間腐食にも、さらにクロムは酸化性環境に効果があります。ニオブ、チタンとアルミは熱処理の行う際に強度を増すために加えられています。	Special Metals
92	HR-120	N08120	高温下での高強度と炭化および硫化環境における優れた耐食性を合わせ持つ固溶強化型合金です。酸化環境において広く用いられている 330 や 800H などの FeNiCr 合金や NiCr 合金と比べ、1095 °C までの条件では明らかに高い強度を示します。溶接棒には HA556 を用います。	Haynes International
93	ヘインズアロイ 556	R30556	耐酸化性、耐侵食性、耐硫化性に優れています。	日立金属
94	マルチメット	R30155	815°Cまでの高応力と 1093°Cまでの中応力の環境下で用いることが推奨される合金です。優れた耐酸化性、延性と加工性を持ちます。これらの高温特性は時効処理を要しない固有のものであります。	Haynes International
95	MA47P	—	耐酸化性に優れ、酸化雰囲気で使用される、トレーやメッシュベルトなどの加熱炉、熱処理炉の部材に適しています。	日立金属
96	ヘインズアロイ No.25	R30605	高い高温強度を持ち航空機、炉部材などに広く使用されています。	日立金属
97	UMCo(ユムコ)50	—	優れた耐熱衝撃性・耐摩耗性とサルファー、バナジウムアタックに対して強い耐熱性コバルト合金です。また、ほかのコバルト基、ニッケル基の耐熱材料に比べて融点の高い事も特長の一つで、製鉄所のスキッドレールに使用した例では常用 1,350°Cで使用しています。このため、材料の融点が低いために使用出来なかった熱処理関係、炉関係用途において優れた性能を発揮します。	日立金属
98	ヘインズアロイ NS-163	—	高いクリープ強度と、982°Cまでの耐酸化性を持つ合金です。	Haynes International
99	ヘインズアロイ 188	R30188	1,093°Cまでの良好な高温強度をもち、またランタンを含む為、この温度まで加熱されても非常に密着性の良い耐酸化性の被膜を形成します。また、760~871°Cにおいて長時間使用しても劣化しません。主な用途としてガスタービン、航空機エンジン部材などに用いられます。	日立金属
100	Ti 3Al-2.5V	R56320	成形性と高強度を合わせ持つチタン合金です。室温と高温の両方で市販の純チタンよりも高強度です。Ti 6Al-4V とは異なり冷間圧延することができます。ASTMB348 グレード 9 としても知られています。	Carpenter Technology
101	Ti 6Al-4V	R56400	高強度、軽量、成形性、耐食性の組み合わせを提供し、最も一般的に使用されているチタン合金で約 350°Cまでの使用が推奨されます。低温から中程度の温度での高強度、軽量、優れた耐食性の組み合わせが必要なあらゆる用途で検討できます。	Carpenter Technology

No.	合金名(通称)	UNS No.	特徴	出典
102	ヘインズアロイ 242	N10242	649 - 704°Cにおける引張強さとクリープ強度が、固溶強化型合金の2倍以上である時効強化型合金で、時効状態でも高い延性を持ちます。熱膨張性が他の合金より著しく低く、816°Cまでの温度範囲内で優れた耐酸化性を有しています。また、優れた低サイクル疲労強度、熱的安定性、高温におけるフッ素もしくはフッ化物に耐食性があります。	Haynes International
103	ハステロイ S	N06635	複数の特徴を持つユニークな合金で、熱的安定性、低膨張率、そして 1093°Cまでの温度範囲で優れた耐酸化性を持ちます。さらに高温強度と熱疲労強度も持ちます。また、時効処理後の延性も確保しています。	Haynes International
104	アロイ 36	K93600, K93601	低熱膨張特性を持つ FeNi の二相合金で、冷間加工することでも熱膨張を抑えることができます。また、段階的に熱処理を行うことで所望の温度域での低膨張性を与えることができます。	VDM
105	インコロイ 903	N19903	低熱膨張と高温での安定した弾性・高強度を特徴とする時効強化型 NiFeCo 合金です。その特徴から、ロケットエンジンの推力室、蒸気タービン部品などに用いられます。	Special Metals
106	インコロイ 907	N19907	低熱膨張・高強度の NiFeCo 合金で時効処理によって強化されます。加工精度を高く保つことができ、燃費を大きく向上させる目的でガスタービン部品に用いられ、比強度が高いため航空機エンジンに用いられます。	Special Metals
107	インコロイ 909	N19909	低熱膨張と高温での安定した弾性・高強度を特徴とする NiFeCo 合金です。析出硬化処理によってさらに強化されます。加工精度を高く保つことができ、高出力と低燃費の目的でガスタービン部品に用いられ、比強度が高いため航空機エンジンに用いられます。	Special Metals
108	アルチメット	R31233	耐摩耗と耐食の両機能を併せ持った合金です。耐摩合金としては低炭素のステライト®であると言え、耐食合金としては ハステロイ C や G シリーズと同様に塩素を含む環境において孔食や隙間腐食に耐えます。機械的性質や溶接性は、延性に乏しいステライトよりもハステロイシリーズに近く、良好です。	Haynes International
109	MS No.6B	R30016	ステライト No.6 の鍛圧材で、エロージョンシールドなどに用いられます。	日立金属

備考

- 「合金名(通称)」は、単一メーカーが製造するものはその名称とし、複数メーカーが製造もしくは販売するものはもっともポピュラーと思われる名称の「和名」として記載しています。通称のため、該当する合金の正式名称とは異なる場合がありますのでご注意ください。
- 「特徴」は、単一メーカーが製造するものはその説明文をそのまま、複数メーカーが製造もしくは販売するものは、日本メーカーの説明文を優先して記載しています。日本メーカーの説明文がない場合は概要を和訳しておりますが、正確な情報は前項の合金名にリンクされているメーカーのサイトにてご確認ください。
- 「出典」は「特徴」を引用した製造メーカー名を示しています。1項及び2項の事由から「合金名(通称)」とこのメーカーの商標名が一致するとは限りませんのでご注意ください。
(例：Special Metals 社の商標名である「インコネル 600」の特徴欄には、同等材である「MA600」を製造する日立金属の説明文を用いています)
- 本表は、参照のしやすさを優先したため、登録商標に基づく表記をしておりません。各合金の正式名称及び商標権については、[耐食鋼・耐熱鋼 相当品一覧表](#)にてご確認ください。